

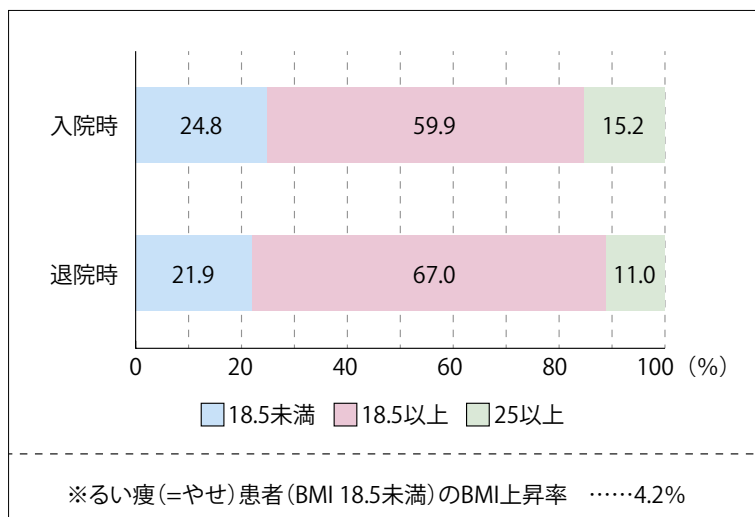
1-IV 栄養状態の改善

初台リハビリテーション病院
クリニカルインディケーター 2025

① BMI の変化 (n=689)

BMI (Body Mass Index : 体格指数) が 18.5Kg/m²未満の「い痩(=やせ)」の方の割合は、入院時 24.8% から 21.9% に減少しました。

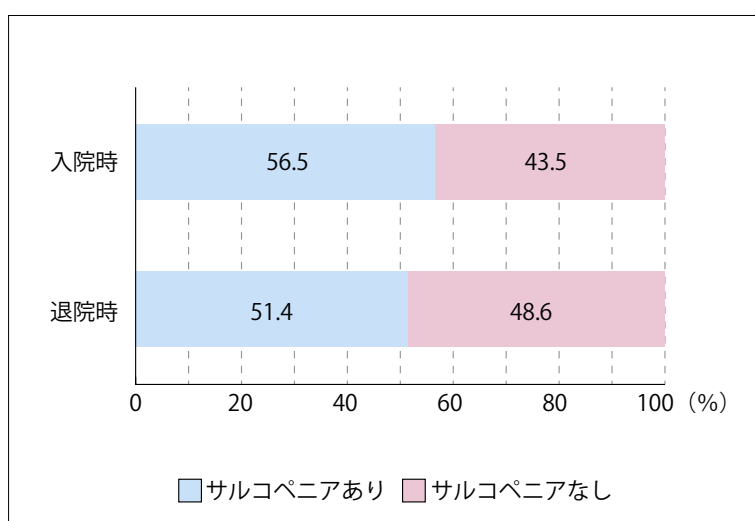
全国平均では BMI18.5 未満の方が 23.1% から 24.6% に増加しています。BMI が 25Kg/m²以上の「肥満」の方の割合は、入院時 15.2%から退院時 11.0%に減少しました。



②サルコペニアからの改善 (n=687)

サルコペニアとは、加齢や疾患などの影響により、全身の筋肉量の減少と、筋力低下、身体機能の低下のことを指します。早期に気づき、食事と運動で対策を行うことで進行を防ぎ、改善することができます。

サルコペニアの有病率は入院時 56.5% から退院時 51.4% に減少しました。



③入院患者の食事形態の割合 (n=681)

当院の食事形態は、常食は食形態の制限なし、軟菜食は常食より硬い食材を除いた食事、ソフト食は舌と上顎で潰せる固さの食事、嚥下食3はペースト状と弱い力で潰せる固形食が含まれる食事、嚥下食2はペースト状の食事としています。食事形態の詳細として、ソフト食・嚥下食3・嚥下食2のカッコ内に日本摂食嚥下学会より発表されている嚥下調整食学会分類コード 2021 のコード分類を併記しました。

